

1. 研究概要

1) 対象

2001年1月～2020年3月に発生した院内職員および契約職員体液曝露事故報告例とする。なお、体液曝露事故報告例とは当院事務部にて正式に事故報告を受け付けたもの

2) 目的

当院における体液曝露事故の状況把握

3) 方法

体液曝露事故時および事故後に当院臨床検査部にて測定されたHBV, HCV, HIV, HTLV梅毒関連データを解析し、真の事故件数、感染成立頻度、感染成立の条件などについての研究

2. 研究の開示

研究成果は、研究対象者を特定できないようにしたうえで、学会や学術雑誌等で公表します。

3. 個人情報の扱い

「連結可能匿名化」を行い、個人情報を保護します。

4. 研究機関名

大阪大学医学部附属病院 臨床検査部／感染制御部／医療技術部

5. 研究責任者名

感染制御部／医療技術部／臨床検査部 吉岡範

6. 相談窓口

感染制御部／臨床検査部 吉岡範（内線 5093 感染制御部）

7. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法

本研究は、介入を必要としない観察研究であるため、症例登録のいかんにかかわらず、治療法に影響は全く及ぼしません。また、診断・治療等に関わる検査結果等の医療情報を使用しますので研究対象者に生じる負担やリスクはありません。症例登録をすること自体の参加の拒否については、主治医への口頭での意思表示、もしくは、電話での意思表示でお伝えいただくことができます。